

会議録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会 平成29年度第1回会議
開催日時	平成29年5月26日（金）午前10時から11時25分
開催場所	保谷庁舎 4階理事者室
出席者	委員：鈴木委員、石井（正）委員、近辻委員、都築委員、多々良委員 事務局：岡本課長、掛谷課長補佐、阿久津主事、亀田主事、吉村主事
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成29年度文化財事業等の予定について 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 西東京市文化財の指定について 4 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 下野谷遺跡の保存・活用について (2) 文化財事業実施報告 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財 ・その他の文化財事業等 5 その他 6 閉会
会議資料の名称	資料1 平成29年度主な文化財事業等の予定 資料2 西東京市文化財指定調書（案） 資料3 下野谷遺跡保存・活用について 資料4 埋蔵文化財調査一覧 資料5 文化財事業一覧 資料6 西東京市郷土資料室の展示更新について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

1. 開会

- 鈴木会長：ただいまより平成29年度第1回定例会を始める。
- 事務局：配布資料・出欠の確認。前回会議録について訂正等ある場合は6月2日までに連絡願いたい。

2. 平成29年度文化財事業等の予定について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
 - 事務局：（資料1に沿って説明）
 - ・文化財保存(調査・研究など)
- 天神社拝殿の西東京市文化財への指定に向けた手続きをすすめる。指定後は、説明板の設置などを行う。
天神社総合調査は平成29年度から30年度で実施する予定で、委員にも協力

をお願いしたい。

歴史的建造物悉皆調査について、既調査データの更新のため調査を行う。西東京市文化財保存・活用計画について、各課へ取組状況等の調査を行う。結果は文化財保護審議会へ報告し、ご意見をいただきながらすすめていきたい。

・文化財の活用(普及啓発・活用の推進など)

下野谷遺跡のデジタルコンテンツを制作したので、市内小中学校でタブレットを使用した出前授業を行う。

他の遺跡とのネットワークを組みながらの活用事業として、友好都市との交流事業を実施する。

郷土資料室展示内容の更新を、平成27年度から29年度にかけて市長会助成金を活用して行っている。

・下野谷遺跡の保存・活用

計画策定のため、昨年度に続き下野谷遺跡保存活用計画策定懇談会を開催する。また、市民意見聴取のためのワークショップやパブリックコメントも行っていく。

下野谷遺跡の追加指定が平成29年2月に告示された。平成29年度は追加指定した土地の取得に向けて取り組む。

イベントの開催、デジタルコンテンツの活用、関連商品のPR、東伏見駅周辺でのモニュメント設置などにより、下野谷遺跡を発信していく。

○都築委員：友好都市との交流事業は具体的にどこの自治体と行うのか。

○事務局：下野谷遺跡と同時期の遺跡がある北杜市と調整中である。北杜市の遺跡や発掘現場を見られればと思っている。北杜市の人たちにも下野谷遺跡を知ってもらおうきっかけになる。これを端緒に同時期の遺跡をもつ自治体とのネットワークづくりにつなげていきたい。

○近辻委員：縄文時代の遺跡があるところとつながりを持ち、西東京市が中心となってリードするぐらいの意気込みで取り組んでほしい。友好都市に限らず、進めてほしい。

○多々良委員：まず市民に知ってもらい、それから周辺の自治体へ広げていく方が効率的ではないか。これから先の見通しとして、優先順位をつけて取り組んでほしい。

○近辻委員：このような交流は今年度が初めての取り組みで、これから進んでいくことになる。

下野谷遺跡保存活用計画策定懇談会は今年度で終わるが、懇談会の委員には東京の縄文について見識のある谷口先生がいるし、多摩地域の遺跡とのつながりも検討してほしい。

○都築委員：シンポジウムを開催するなど、普及・活用に努力している。相模原の勝坂遺跡など参考になる遺跡も多いので、いろいろ参考してほしい。

○石井(正)委員：友好都市の交流は全国で盛んであるが、友好都市を結ぶ戦略を市としてどう考えるのか。今は、災害支援という面での交流が中心である。その辺りも考え、その中に文化財も入れ込んで進めていくとよいのではないか。

○鈴木会長：文化財だけでなく、様々な観点で友好都市の交流は意味があると思う。

3. 協議事項

(1) 西東京市文化財の指定について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：拝殿正面にかかっている額で隠されていた部分の鍔絵が確認でき、鈴木会長に所見を更新していただいた。この所見をもとに、答申に添付する本審議会としての「文化財調書（案）（資料2）」を作成したので、意見ををお願いします。
答申は、現委員の任期中にいただきたい。
- 鈴木会長：拝殿に関しては、保存状況は良好で、建物の意匠的な水準は高い。また、村の鎮守として氏子の方々も保存等に熱心である。
建築年代がはっきりしたこと、鍔絵が市内では他に例を見ないものであることから指定文化財に値すると思う。
- 近辻委員：答申(案)にある「絵様」というのは正式な言葉か。
- 鈴木会長：平らな部分の絵のことを「絵様」、彫刻などは「繰型」という。
- 近辻委員：本殿の指定などはどうなるのか。
- 鈴木会長：もう少し調査が必要。建造物としての価値は問題ないが、年代がはっきりしていない。
- 近辻委員：田無神社は本殿が先に指定となった。一般的に本殿と拝殿が同時に指定ということはないのか。
- 鈴木会長：同時ということもあるが、天神社の場合は三十番神信仰という複雑な歴史的経緯があり、本殿の指定などにはそれらの調査がまだ必要である。
- 石井(正)委員：額で隠れていた部分の鍔絵の龍の左にある玉のようなものは、擬宝珠（宝珠）だと思う。
- 鈴木会長：それでは、西東京市文化財に相応しいものとして、答申を行うことでよろしいか。
～異議なし～
答申文案について再度事務局と調整のうえ、後日、市へ提出する。

4. 報告事項

(1) 下野谷遺跡の保存・活用について

- 鈴木会長：事務局から報告をお願いします。
- 事務局：（資料3に沿って説明）
国の交付金を活用してデジタルコンテンツ「VR下野谷縄文ミュージアム」を制作し、専用タブレットを50台用意した。校長会・副校長会で説明し、タブレットを利用した出前授業等を行っている。
また、スマートフォン用アプリの無料配信も行っており、教育委員会所有のタブレット以外でも体験できるようになっている。
下野谷遺跡の普及と地域振興とを目的として、地元商店会等の協力のもと市内5店舗で下野谷遺跡関連商品を開発し、販売している。
このデジタルコンテンツと関連商品のお披露目イベントを平成29年3月26日に開催した。申込多数であったため、抽選となった。当日は雨天のため、会場が下野谷遺跡公園から東伏見小学校体育館に変更となったが、多

くの方に参加いただいた。

～委員「VR下野谷縄文ミュージアム」をタブレットで体験～

(2) 文化財事業実施報告

○鈴木会長：事務局から説明をお願いします。

○事務局：(資料4、資料5、資料6に沿って説明)

埋蔵文化財調査は8件。史跡の内容確認調査を公園西側で実施したところ住居跡が残っていた。

文化財保存事業として、市指定文化財管理報告書を提出いただく際に、合わせて指定文化財の現状確認を行った。石造物には酸性雨の影響を受けているものもあり、記録をとるなど今後の保存管理の方法を考えていかないといけない。

郷土資料室の展示について、一部内容を更新した。展示室1を2つに区切り、企画展示スペースと休憩スペースを確保している。展示スペースは、他の事業と連携した展示等を考えている。休憩スペースは、来館者からの要望が多かった。モニターを設置し、文化財紹介の映像等を映している。展示室2では、新たに復元した高さ約70cmの土器を展示している。他にも、展示室内や各展示室の入口外に、新たにパネル9枚を設置した。

○近辻委員：埋蔵文化財の調査一覧の中に以前竪穴住居が見つかったところがあるが、そこには影響ないのか。

○事務局：地下への影響がないように、基礎などについては以前の建築計画を踏襲したかたちでの計画となっている。

○多々良委員：VRは素晴らしい。子どもは大喜びしそう。ただし、これから先のメンテナンスを考える必要がある。台数を増やしたり内容を更新したりする場合の予算や契約はどうなっているのか。

○事務局：大幅な内容更新については、CGの作り直しや写真追加などの費用がかかるため、当面は予定していない。下野谷遺跡保存活用計画に基づく整備の際には、GPSとの連動箇所の修正などが必要となる可能性がある。また、スマートフォン新機種への対応については、予算を確保している。

5. その他

○事務局：今回の会議が、現委員の任期中の最後の会議となる。

○鈴木会長：以上をもって、平成29年度第1回会議を閉会する。